

第三回アイクリエイト開催のご報告

2017 年 11 月 26 日（日）、大山田コミュニティプラザ（桑名市）にて第三回アイクリエイトが開催されました。

「アイクリエイト」は、経験・技術・得意なことを活かして独自の活動を行う地域の女性・お母さん達が一同に集まり、自らの活動や事業を地域の人達に体験してもらい、より広く PR することで、新しいつながりや、新たな夢や勇気を生み出す、参加型のイベントとして、三重県桑名市にて 2014 年にスタートいたしました。

第三回となるアイクリエイトは、これまで行ってきた、子育て世代をターゲットとした「親子イベント」から、大人の女性のための「女性の生き方」をテーマへと発展させ開催いたしました。



今回、第二次ベビーブーマーであり、子育てと介護をかけもつダブルケア世代の先がけといえる 40 代を中心とした中高年世代の女性達をターゲットとし、「向上心あふれる地域の女性達のつながりを」をテーマとしました。

実際に来場した女性（大人）の約 80%が 40 代女性でした。

多くの女性が、ブースでの体験や、出展者同士の活動を通じて、新しい出会いを喜び、刺激を受け、新しいチャンスを感じ、すぐに SNS でつながり人脈化する様子など、社会の変化と、女性の生き方の変化を強く感じました。



また、シングルマザー（6 名）、障害を持つ方々、命の大切さを伝える活動団体、こども食堂を開催する団体など、多様な社会問題に立ち向かう女性達に積極的に参加頂き、各々の活動を大きく取り上げ、広報だけでなく体験・体感を通して、地域社会に必要とされている大切なものを地域の人達に実感していただきました。

アイクリエイト開催そのものも、多くの善意と、SNS や IT 利用により効率的に組み立てられました。

企画・準備では多方面で活動する女性達の協力やサポートが取り込まれ、開催日には、朝早くからの会場設置から終了清掃までは、イベントに出展した全ての女性達によってなされました。

アイクリエイト参加ブース数は約 50。SNS がフル活用され、様々な想いが多くの人達に共有されてゆきました。

ブース参加者、また来場者のアンケートから、共に満足度が高かったことがうかがえました。

●ブース参加した女性達からは、「出会い」への喜びを感じた声が圧倒的に多かった。

「多くの人と出会いと関わりが嬉しかった」「多くの人達の感性に触れた」「良いものを提供する大切さを学んだ」「自分の活動（事業）が地域の中でこんなにも反応をもらえた」「子供へも大人へも受け入れられた」「次へのつながりを生み出せた」「自信につながった」「挑戦してみようと思った」など、さまざまな前向きな声あふれる結果となりました。

●来場者からは、「活き活きとした女性達の姿に励まされた」「子供と一緒に楽しめた（子供用だけでない）」「毎年開催してほしい」「（大人として）楽しかった」の声が数多くみられました。



結果として、アイクリエイトのテーマである「地域の女性達への新しいつながり」が数多く創出されました。

《アイクリエイト出展ブースの一部ご紹介》

「食を大切に」をテーマとした各ブースは、「手作り」の大切さ、あたたかさを伝えました。

■地域の食ブース



鈴鹿大学名誉教授が見学に。



つながりを求めて赤ちゃんに参加



東京から移り住、自然菜園を営む若夫婦



プレゼントクッキーで起業シングルママ



大人気のアイシングクッキーは、先生のセンスで、インスタ映えするものに。



若い障がい者達の職場として、県産小麦にこだわるパン屋を営むご夫婦。



大人気となった三代目、四代目女将による、和菓子作り教室

味噌玉つくりと、手作り味噌の試飲。
大人気ブースでした。



桑名女性ネットワークで開発お手伝い
をしたキッチンツールも展示しました。



地元企業さんの水耕栽培野菜や、耕作放棄地を
開墾してつくられたお米の販売を行いました。
(愛敬市議・視察)

■こども食堂／交流カフェ

「こども食堂」を準備する、お母さんたち。
おにぎりやパン、納豆など 100 名分。



「こども食堂」は、美味しい地域の食材として、企業様よりご提供
いただきました。市長視察。



「交流カフェ」では、ご提供いただいた食品と、桑名の手作
りスイーツとコーヒーで交流セミナーも開催されました。



「地域の食」への関心は高く、女性・母親だからこそ、体にやさしく、手作りや心のこもった食を提案する女性達のブースが並びました。

「シングルマザーだけどプレゼントクッキーで起業しました！」という女性は、手の込んだメッセージ性の高い「プレゼントクッキー」から人との繋がりをつくる思いを伝えていました。

障がいを持つ青年達の職場として、三重県産にこだわった素材で本格的なパン屋さんを目指す女性。

「味噌玉を作っておけば、働くお母さんはとても助かる」と味噌の素晴らしさを提案する料理教室の女性。
地元企業 NTN さんの風力発電による水耕野菜トマトは、瞬く間に売れてしまいました。

「練り切り和菓子作り体験」「アイシングクッキー体験」は、常に大変盛況でした。

これは、食べ物をデザインとして創作することが「インスタ映え」の流行のように、『誰かに教えたい、見せたい、知ってもらいたい』想いにつながりやすく、またそれを SNS で手軽に行えることで、**人とのコミュニケーション、コミュニティづくりは、身近で手軽な“食”から始まりやすいのだ**と感じさせられました。

『こども食堂』『交流カフェ』では、耕作放棄地から地域の農の再興を図る「きもとファームさん」の新米で炊いた100食分のおにぎりと、モクモク手づくりファームさんによる安納芋パン、小杉食品さんの納豆などが並びました。多くの来場者さんに、ゆっくりと交流の時間をつくることができました。

■創作体験ブース

今回のアイクリエイトでは、「ものづくり・手作り」のワークショップやブースが多く参加しました。

特に、子供に特化せず、大人も楽しめるものづくり体験、デザイン性の高いものづくり体験には多くの人達が集まり、賑いをみせました。

●人気の高かった体験ブース



大人気の UV レジンのアクセサリ作り



桑名市伊藤市長も視察



エレガントな手鏡づくりの体験



ヒンメリー制作



最後まで大人気
バルーンアート



ミシンも使う[がま口ラッチバック作り Workshop]は満席。(桑名女性ネットワーク企画)



販売も一部行われていましたが、圧倒的に創作・体験教室を希望する人が多く、昨今、**(特に) 女性は、既製品では満たされず「自分で作りたい」という気持ちが大変大きい。体験型を求めている**ことがわかります。

大量生産・大量消費のものではなく、自分の手で作るモノへ愛着が生まれ、モノづくりはデザインするという刺激的な場ともなり、私達のライフスタイルを改めて考えてみたり、子供達の感性の豊かさに改めて驚かされた、という声が聞かれました。

また、その場で知り合った人達と共に作り上げる、面白さ楽しさを体感し、その満足度は高かったようです(アンケート結果より)。

■親子で創作ブース

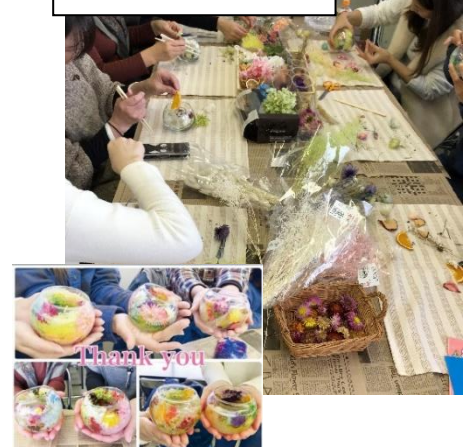
チョークアート



フレンチリボン



アロマキャンドル



「いのちの授業」タンポポバック・ステンシル

アロマクリーム作り



ガールスカウトの活動 PR

■大人女性むけブース

体調が大きく変化する中高年世代の女性向けに、体の不調を整えたり、美容意識を高めることによって前向きになれたり、心地よいマッサージ方法やメイク方法を教わったりといった体験ブースも並びました。

予約は次々に埋まり、特に体調が不安定な中高年世代の女性は、体調を整え心身を快適にして過ごしたい、女性として前向きな面持ちで過ごしたいという強いことがうかがわれました。

ラテンダンスとバレートの組み合わせのフィットネス体験では、小学生位の子供と一緒に踊る新しさに、盛り上がり方や楽しさが一段違くと、講師も新たな発見としていました。





また、毎回人気の高い「占い」や「鑑定」体験ブースは、予約がすぐに埋まってしまう盛況ぶりで、「イベントでは占い」、といわれるほど、集客の力となるコーナーであることを今年も実証しました。

女性は、「知りたい」「教えてもらいたい」「相談したい」ことをコミュニケーションを通じて体感することに関心が高いことが、ここでも現れていました。

■ステージ（ホール）から

故・日野原重明先生の想いを伝える「いのちの授業」



ステージからは、聴診器を使った「いのちの授業」をエフ・フィールド行いました。

故・日野原重明先生が唱える“命とは”を考える「いのちの授業」を各地の小学校で行い、その活動は日本各地へ広がっています。

ダンスから自分たちを伝える／ステージを支えるママ達



午後からは、高校生ダンスグループによる、ステージを。つづいて、ダンス・スクールによる、子供達のダンスステージが披露され、「すごかった！」と歓声をあげて出てくる子供達もいるほどの盛り上がりとなり、ステージママたちの頑張りもありました。

（右写真：フォトスポットを用意しました）



500名を超えた来場者の皆さまへは、株式会社ギンビス様にご提供いただきました「たべっこどうぶつ」バスケット、ヤマモリ株式会社様にご提供いただきました「生春セット」などがお土産としてふるまわれ、今年も親子に大変好評でした。

会場内では、親子でおやつを楽しむ微笑ましい様子が各所で見られました。

《アイクリエイトから見たこと》

●「体験型」が求められている。

本イベントでは、魅力的で安価に設定されていたに関わらず物品（食品以外）は、あまり売れなかった。ワークショップや体験教室へ参加する人達が大半であり、体験教室では予約も次々に埋まっていった。

「買いたい」よりも、「体験したい」という思いが強いことがわかる。

また、体験から購買へとつながる道すじを作ることが大事であることがわかる。

●事前に SNS を通じて PR したブースが、圧倒的に来客数が多かった。

ブース参加者の中でも、1 か月ほど前から、Instagram や Facebook、ブログを通じて、「アイクリエイトへ出展して、どのようなブースを出し、どんなことが体験できる」のかを伝え続けた女性達のブースは、来場者数が圧倒的に多かった。SNS の PR 活用は効果が大きく、特に若い世代には必須である。

●非常に多くの女性が、「自分も将来何かを行いたいと思っている」

会場アンケートへの回答は、225 名。内、大人の回答は 138 名。

回答者は、ターゲットとした、40 代が 9 割を占める。

回答の中で、「あなたも経験や技能を活かして、何かの活動事業を行いたいのか？」の間に、138 名中、88 名が「将来トライしてみたい」と回答している。

昨年同様、今年も、非常に多くの女性が、自分も何かの活動やスモールビジネスを行いたいと考えていることがわかる。

●常に新しい技術・スキルを習得しようとしている

ブース参加者である女性達の特徴として、複数のスキルで看板を出せる人が多かった。

つまり、既にいくつかのスキルを習得していたり、新しいスキルや資格にむけて学んでいる女性が多かった。

変化の激しい時代では、スキルの価値があつという間にかわってしまう。手持ちのスキルだけでよしとせず、新しいスキルを習得しようとする女性が多いことに驚かされる。

事例) ●デザイナー、クリエイターであるが、筆跡診断師、セラピストである。

●日本語講師（外国人向）であるが、似顔絵師である。

●お菓子教室を主宰しているが、リボン教室の講師、革製品の講師である。 など

●女性たちは人的ネットワークを広げる力が高い

ロールモデルとの出会いや、共感できる仲間との出会いを得られた場であった。

その場で、スマートフォンを出して SNS などにつながりあい、イベントを共に企画したり、依頼をしあったりといった場が多数見られた。

●企業からの関心、つながりが生まれた

1、他県から視察に来場したキッチンメーカーの社長様より「社内教育とイベント時の講師として、2つのブースの女性達に、仕事として依頼した」と連絡をいただいた。

2、「このような（独自活動を行っている）女性達に、自社の商品を PR する機会はどうすればできるのか？」との相談をいただいた。（地元企業）

今回、企業様むけの広報が十分でなかった、今後は女性達に新たなチャンスを生み出す仕掛けが必要と感じた。

●自分も参加したいという女性達の声・アイクリエイトへの意見

・ 昨年アイクリエイトへブース参加した女性より

「乳がん治療により今年は参加できなかったけれど、次回は桑名初のピンクリボン活動も一緒に PR できるブースを出したいです」

・ 来場者の中から

「自分も色々なスキルや資格で活動しているので、ぜひ次回は参加させてほしい」 ←多数有

「大人（女性）が楽しめるブースがあるのが良かった」「これからも開催してほしい」←多数有
「もっと広報してほしい」

「アイクリエイト」は、いわゆるマルシェや展示会とは違い、参加する人達皆が、何らかの背景を背負いながらも自分の想いと可能性にチャレンジする場であり、つながりを生み出す場です。

桑名に住んでいる女性、又は桑名にゆかりのある女性達が一同に集まり、自らの活動・事業を地域の人達へ体験してもらい、PR し、新しい繋がりを生み出してゆく場です。

スマホやWEB から見知るだけでなく、実際に顔を合わせ、想いをもって対話と経験をすることにより、目の前の人たちその想いに触れられ、共感することができます。

そして、その地域の人が集まってくることは、大きな喜びであることを、皆で体感するのです。

アイクリエイトへ参加した女性たちの多くが、「新しい発見」「新しい可能性」「新しいつながり」を見出し、ロールモデルとの出会いや、共感できる仲間との出会いを得られた喜びを報告しています。

「人生 100 年時代」と言われるように、私達は多様化する現代社会・地域社会の中で、超・長寿社会を生きゆく可能性があります。

変化の著しい時代の中では、新しいことを試みる人達をもっと評価され、もっと報いられる社会へ変化する必要があります。そして、一人一人が、その人らしく、心身の豊かさを築いてゆける地域社会であるべきでしょう。

私達が何かを変化を起こしたいと思う時に必要なのは、心ゆるせる仲間と、お手本となる人、想いを同じくする人達との出会いです。そのためにも普段から『地域社会とのつながりを築いておくこと』こそが、超・長寿社会を生きゆく私達の「豊かに生きるための備え」となるでしょう。

「アイクリエイト」がその一端を担ってゆけるよう、地域の中に、思いやりや支え合いの共生を生み出す場となってゆくことを願って、今後も挑戦を続けてゆきます。

多くの地域の方々、企業様のご協力により、無事「第三回アイクリエイト」を開催できましたことを心よりお礼申し上げます。

桑名女性ネットワーク

代表 水谷 美保

2017 年 12 月 5 日